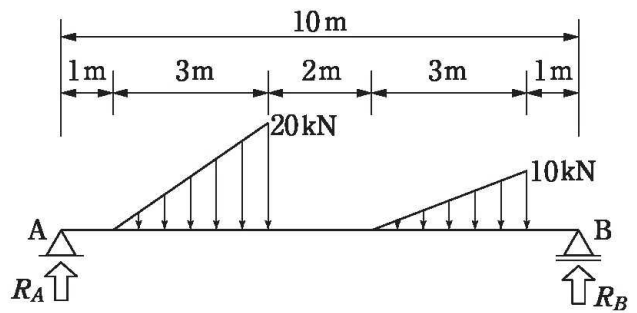


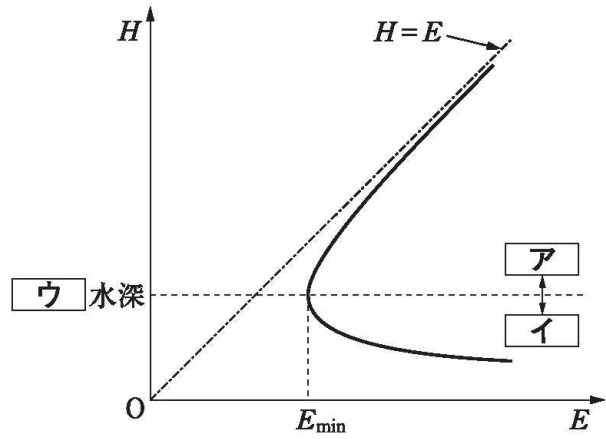
専門試験- 上級- 総合土木

[No.1] 図のように、長さ10mの単純梁 AB に荷重の最大値が20kNと10kNの二つの等変分布荷重が同時に作用するとき、支点 A における鉛直反力 R_A の大きさはいくらか。

1. 22 kN
2. 24 kN
3. 25 kN
4. 26 kN
5. 28 kN



[No.2] 図の曲線は、長方形断面開水路の等流の流れにおいて、流量を一定としたときの、水深 H と比エネルギー E の関係を表している。図のア～ウに当てはまるものをいずれも正しく挙げているのはどれか。



- | | ア | イ | ウ |
|----|----|----|----|
| 1. | 射流 | 常流 | 限界 |
| 2. | 射流 | 常流 | 交代 |
| 3. | 射流 | 常流 | 相对 |
| 4. | 常流 | 射流 | 限界 |
| 5. | 常流 | 射流 | 交代 |

[No.3] 設計速度が40 km/hの道路(A)と、設計速度が60 km/hの道路(B)を比較したとき、①~④の値について、自動車が安全に走行できる道路構造であるために取り得る値の大小関係の組合せとして妥当なのはどれか。

①平面曲線(円曲線)の最小曲線半径 [m]

②平面曲線(円曲線)の最小曲線長 [m]

③最大縦断勾配 [%]

④制動停止視距の最小値 [m]

	①	②	③	④
1.	A > B	A > B	A > B	A < B
2.	A > B	A < B	A < B	A > B
3.	A < B	A > B	A < B	A < B
4.	A < B	A < B	A > B	A < B
5.	A < B	A < B	A < B	A > B